令和2年3月1日 No.184

大室山

市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。



伊豆高原桜並木

【第43回伊豆高原桜まつり】 3月21日 (土)・22日 (日)・28日 (土)・29日 (日) に 開催されます

主な内容

○12月定例会の概要 ······【 P. 2】 ○常任委員会だより ·····【 P.11】

○一般質問(15議員が登壇)······【P.4】 ○常任委員会行政視察 ············【P.12】

令和元年12月定例会



27件の議案等を審議、決定

12月定例会を11月29日から12月13日までの15日間の会期で開会しました。



議案番号	件	名	概要	提出者	審議結果
市認第15号	予算(第5号)専 認について	[市一般会計補正 [決処分の報告承	台風15号及び19号により発生した災害に関し、災害復旧費として、池鳴川応急復旧に係る農業用施設災害復旧費及び災害ごみの運搬・処理に係る清掃用施設災害復旧費、市内緊急経済対策として、大手宿泊予約サイトを使ったキャンペーン等特別誘客宣伝事業等の観光商工費を内容とした9,000万円を追加する補正予算について、令和元年10月21日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市報第5号		る損害賠償の額 決処分の報告に	令和元年9月8日から9月9日にかけて通過した台風15号により、 伊東市老人憩の家城ヶ崎荘敷地内の樹木が倒れ、隣接する家 屋の一部を損壊させたことによるもので、令和元年10月28日 に専決処分を行ったことの報告	市長	(報告・質疑 のみ)
市報第6号 市報第7号		る損害賠償の額決処分の報告に	令和元年9月8日から9月9日にかけて通過した台風15号により、 伊東市立夜間救急医療センター機械室屋根の一部が破損及び 飛散し、隣接する家屋2棟の、それぞれ一部を損壊させたこ とによるもので、令和元年11月8日に専決処分を行ったこと の報告	市長	(報告・質疑のみ)
市報第8号		る損害賠償の額決処分の報告に	令和元年9月8日から9月9日にかけて通過した台風15号により、 伊東公園内の樹木が枝折れ及び飛散し、隣接する家屋の一部 を損壊させたことによるもので、令和元年11月8日に専決処 分を行ったことの報告	市長	(報告・質疑 のみ)
市報第9号		る損害賠償の額 決処分の報告に	令和元年9月8日から9月9日にかけて通過した台風15号により、 市営城平住宅C棟屋根の一部が破損及び飛散し、同住宅C棟 駐車場に駐車中であった車両を傷つけ損害を与えたことによ るもので、令和元年10月29日に専決処分を行ったことの報告	市長	(報告・質疑のみ)
市議第21号	機構改革に伴う に関する条例	関係条例の整備	令和2年4月1日に実施する組織機構の見直しに伴う、伊東市 総合計画審議会条例及び伊東市特別職報酬等審議会条例の条 例改正	市長	全会一致 で可決
市議第22号		益的法人等への 例の一部を改正	令和2年4月から一般社団法人伊東観光協会及び社会福祉法人 伊東市社会福祉協議会に本市職員を派遣することに伴う条例 改正	市長	全会一致 で可決
市議第23号	伊東市一般職の する条例の一部		地方公務員法の改正により、同法に規定する欠格条項のうち、「成年被後見人又は被保佐人」が削除されることに伴う期末 手当の支給上限の規定を改めること及び令和元年度人事院勧 告に伴う、令和元年12月期の勤勉手当の0.925月から0.975月 への引き上げ、令和2年度以降の勤勉手当を6月期、12月期と もに0.95月に改める等の条例改正	市長	全会一致 で可決
市議第24号	伊東市職員等退の一部を改正する	職手当支給条例 る条例	地方公務員法の改正により、同法に規定する欠格条項のうち、 「成年被後見人又は被保佐人」が削除されることに伴う、退 職手当の支給制限の規定を改める条例改正	市長	全会一致 で可決
市議第25号	伊東市森林環境		森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い、 森林環境譲与税を財源とした森林環境整備事業の執行残額を 次年度以降の森林環境整備に関する施策に必要な経費に充て るため、基金の設置について定める条例の制定	市長	全会一致 で可決
市議第26号		音事業等の設備 る基準を定める 正する条例	児童福祉法の改正により、養育里親及び養子縁組里親の欠格 事由から「成年被後見人又は被保佐人」が削除されることに 伴う、引用条項の整理を行う条例改正	市長	全会一致 で可決

市議会だより

議案番号	件	名	概 要	提出者	審議結果
市議第27号	伊東市放課後児童の設備及び運営に 定める条例の一部例	関する基準を	放課後児童健全育成事業の設備及び設置に関する基準の改正 並びに学校教育法の改正に伴い、放課後児童支援員が修了す べき研修の施行者に政令指定都市の長を加えるとともに、放 課後児童支援員認定資格研修の受講対象者に専門職大学の前 期課程を修了した者を追加する条例改正	市長	全会一致 で可決
市議第28号	伊東市散骨場等の に関する条例の一 条例		成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、経営の許可 に係る欠格条項について「成年被後見人又は被保佐人」を削 除する条例改正	市長	全会一致 で可決
市議第29号	伊東市競輪事業臨 与の種類及び基準		令和2年度からの会計年度任用職員制度の導入に伴い、伊東 温泉競輪事業に従事する臨時従事員の給与の基準を定める条 例の制定	市長	全会一致 で可決
市議第30号	伊東市公共下水道 に関する条例		令和2年度から公共下水道事業に地方公営企業法の財務規定 等を適用し、企業会計へ移行させるための条例の制定	市長	全会一致 で可決
市議第31号	伊東市営住宅の設 関する条例の一部		民法の改正による法定利率の改定に伴い、市営住宅の不正入居者に対する明渡し請求時の徴収金額に係る利率を「年5分の割合」から「法定利率」(令和2年4月1日から3%。3年ごとに見直される。)に改める条例改正	市長	全会一致 で可決
市議第32号	伊東市老人憩の家 城ヶ崎デイサーと 指定管理者の指定	ごスセンターの	社会福祉法人城ヶ崎いこいの里を指定 指定の期間:令和2年4月1日から令和7年3月31日まで	市長	全会一致 で可決
市議第33号	令和元年度伊東市 予算(第6号)	5一般会計補正	不足が見込まれる障害児給付費、台風15号及び19号による倒木などの被害に緊急的に対応するための経費、全小学校普通教室への電子黒板及び専用パソコンの配備経費、大原武道場に空調設備を設置するための経費など、5億4,828万円の追加	市長	全会一致 で可決
市議第34号	令和元年度伊東市 会計補正予算(第		一般会計への繰り出しと、競輪施設改善基金及び競輪事業基 金への積立金の増額及び全国競輪施行者協議会負担金の追加 で、4億3,341万5,000円の追加	市長	全会一致 で可決
市議第35号	令和元年度伊東市 会計補正予算(第 ⁻		墓所内進入路の拡幅などの修繕料、墓所使用者の墓所返還に 伴う還付金の計上及び基金への積立金の追加で、939万1,000 円の追加	市長	全会一致 で可決
市議第36号	令和元年度伊東市 特別会計補正予算		不足が見込まれる居宅介護サービス給付費や保険給付支払準 備基金積立金の追加が主なもので、3億1,120万4,000円の追加	市長	全会一致 で可決
市議第37号	令和元年度伊東市 療特別会計補正予		広域連合に対する保険料負担金の追加が主なもので、8,068万 9,000円の追加	市長	全会一致 で可決
市議第38号	令和元年度伊東市 補正予算(第1号)		収益的収入を47万8,000円追加し、収益的支出では、荻城ノ平水源紫外線照射施設建設に関する変更認可設計委託料の計上が主なもので3,455万6,000円を追加し、資本的支出では、人件費の整理により54万3,000円の減額	市長	全会一致 で可決
市選第5号	教育委員会委員任 いて		沼田芳美氏(大原)再任	市長	全会一致で 任命に同意
市諮第1号	人権擁護委員候補 いて		石井和代氏(鎌田)新任	市長	全会一致で 推薦に同意
市諮第2号	人権擁護委員候報 いて	捕者の推薦につ	山口早苗氏(富戸)再任	市長	全会一致で 推薦に同意

会派構成は10ページをごらんください。

人事院勧告に伴う市職員 の給料の決め方では、市民 との給与格差をますます広 にする。しかし、市独自の にする。しかし、市独自の にする。しかし、市独自の にする。しかし、市独自の に行財政改革を進める上で に行財政改革を進める上で 回の市長のリーダーシップ 回の市長のリーダーシップ 《賛成》日本共産党 この条例改正は、社会福祉協議会と観光協会に正規 及び再任用職員等の派遣を 可能とするものである。いずれも行政との関係が深い だ人であり、より強い連携 と事業の前進が期待できる。 これを機に観光の総合ビジョンの推進が図られること、 事た、両法人とも今後の発 また、両法人とも今後の発

討論の概要

(市議第二二号)

《賛成》杉本一彦議員

15議員が登壇/市政全般について質問

みについて伺う 商工業施策に対する取り 組



みゃざきまさしげ 宮崎雅薫議員 (正風クラブ)

り組みが重要な経営課題に 域外市場やシニア層への取 事業規模の縮小が避けられ なるとの想定もある。 おり、首都圏を中心とする う巨大な交流人口を有して 口の一〇〇倍近い集客とい ないと考える。一方で本市 を商圏としている事業所は、 と予測され、本市周辺地域 ○一○年と比べ約半減する 口は五万人を下回り、 人口と生産年齢人口は、 二〇四〇年の伊東市の 減少したとはいえ、 年少

起業支援、

している 施策など多岐にわたり実施 建設助成、

催や起業支援及び空き店 盤の強化を図っている。 を行う等、事業者の経営基 た中小企業者への利子補給 対策事業を実し、金融施! 援としては伊東創業塾の開 につながっている。起業支 対し一・三倍もの工事受注 中でも今年度の住宅リフォ 一ム振興事業は、助成額に 注することが要件だが、 建設助成は市内事業者に 各種制度融資を利用し 策 舗

促進を展開している。 販売するなど効果的な販 初め、市内のスーパー等で とうのいいもの」に認定し、 域資源を伊東ブランド や開発商品などの優良な地 広報拠点「ぬくもーる」を そのほか、 本市の特産品 売

策を積極的に講じていく。 と連携しながら、市内商工業 『その他の質問』一〇項目 振興を図るための各種 今後も、伊東商工会議 施 所

取り組んでいるか伺う。

施策について、

どのように

している本市の商工業振興

消費活動も近年低迷

少傾向にあり、

投資・資金

売業を中心に事業所数は減

小規模事業所や卸売・小

金融

しのはらみねこ 篠原峰子議員 (公明党)

ばの教室」及び「杉の子」 また、通級指導教室「こと 児学級を各学校に配置すべ 知的障害児学級と情緒障害 の現状と課題を伺う きと考えるが、 小・中学校の統廃合を機に いかがか。

う情緒障害児学級について えを伺う。 べきと考えるが、本市の考 害児学級を各学校に配置す 知的障害児学級及び情緒障 小・中学校の統廃合を機に、 ている。 の二校への設置にとどまっ がいのある児童・生徒が通 現在、 西小学校及び南中学校 本市では、 今後進められる 発達障

級指導教室について、 れている「ことばの教室」 と今後の課題を伺う。 また、西小学校に設置さ 「杉の子」の二つの通 現状

> 適正な特別支援学級のあり 統廃合と合わせ検討し、

級指導教室については、 方については、今後の学校 増級を要求していく 支援員の資質向上に努 教

りよい教育環境を提供でき 学級のあり方について、 廃合と合わせ検討していく。 置についても今後の学校統 るよう、特別支援学級の設 態を分析するとともに、 討委員会等を立ち上げ、 通学の課題等があることか 対象児童・生徒の増 本市の適正な特別支援 加

度から発達対象学級を一ク 児童数の増加に伴い、 を要求していく。 県に対してもさらなる増級 研修会に参加させるなど、 ことから、 キル向上などに課題もある 教員の専門的知見や支援ス に対する支援時間の確保や、 ラス増級したが、一人一人 資質向上に努めるとともに、 通級指導教室については、 教員や支援員を 本年

『その他の質問』 四項目

4



(清和会)

をめぐる前市長の刑が確定 したことへの対応について マンダリンホテル跡地購入

されていたが、 において、 佃弘巳前市長の控訴審判決 見返りに建設会社から現金 して返納を求める意思が示 金一三〇〇万円の刑が確定 として、 入をめぐって便宜を図った た退職金については、 一三〇〇万円を受け取った マンダリンホテル跡地購 佃前市長に支払われ 収賄罪に問われた 懲役二年、 既に返納を 市と 追徴

引による利益から捻出され 求めたのか。 べきと考えるが、いかがか。 については、賠償請求をす であることから、その損害 たものであり、原資は税金 万円については、土地取 また、賄賂とされた一五〇

判決を踏まえ、退職手当の 返納を求めていく

刑が確定した。 受け、二二日に禁錮以上の 東京高等裁判所にて判決を 佃前市長は、 八月八日に 八月二一

量を伺う

め 返納命令書の発送手続を進 提出の機会を付与した上で 対し聴聞の機会及び陳述書 収監先が判明次第、 告知通知を送付した。 の聴聞を実施する旨の事前 例に基づく意見陳述のため 求めることや、行政手続条 職手当三期分全額の返納を 日付で佃氏本人に対し、 判決を踏まえ、 返納を求めていく。 佃氏に 今後

切に対応していきたい。 その検討結果を踏まえ、 ながら慎重に検討しており、 かも含め、 して認識できるものかどう は、市がこうむった損害と 五〇〇万円の金銭について 円を初め、 取ったとされる一三〇〇万 また、 佃前市長が受け 弁護士に相談し 賄賂とされた

『その他の質問』 七項目



森林回復作業に着手してい

幡野港内の年間しゅんせつ 進捗状況を伺う。また、八尾入山事業地の原状回復の

確認した。

また、八幡野川が流入する 状回復の進捗状況を伺う。 増減の比較状況を伺う。 つ量を伺うとともに、その 八幡野港内の年間しゅんせ Ш 上流の尾入山事業地の原 違法伐採のあった八幡野

1) た箇所が十分には回復して 現地の確認を行い、植栽し ない状況を確認した

地開発案件であるとともに 設置が完了し、 の是正指導を実施している 者に対して森林に戻すこと 許可権者である県から事業 森林法違反に該当するため ヘクタール以上あり、 違法伐採を行った面積が 土側溝と仮設沈砂池等の 植栽による

(正風クラブ) 務所治山課、 と現地の確認を行い、

切に対応していく。 続き、県と連携しながら適 されていることから、引き 徹底を求める要望書が提出 地元からも県に対し指導の 発生した伐採木の処理等に を求めているところであり、 業者に対し、違法伐採時に ついて定めた計画書の提出 今後については、県が事

FM放送については、

市民

同報無線やコミュニティ

平成二九年度一四三㎡、 平成二八年度八一・六㎡、 は難しいと考えている。 点観測の不実施、年ごとの 較は、堆積した土砂等の定 七㎡となっている。増減比 よるしゅんせつでは三五三 年度の台風一五号の被害に 度ごとのしゅんせつ量は 気象条件の違いから、比較 また、八幡野漁港内の年

市長

いかがか。

図る必要があると考えるが 備えるためにさらに充実を

施し、コミュニティFM放同報無線のデジタル化を実 送の導入を検討する 送の緊急情報の割り込み放

のデジタル化が完了する予 成二八年度からデジタル化 定となっている。 工事を実施しており、 一年度までに市内一 同報無線については、 一四八局 令和 平

『その他の質問』

七項目

るが、一一月二五日に、県 ていない状況であることを 森林保全課、県東部農林事 した箇所が十分には回復し 地元関係者等 植栽 の同報無線やコミュニティ 今後の危機管理対策とし ついて伺う FM放送のさらなる充実に

て

すぎもとかずひこ 杉本一彦議員 (自民・伊東新時代。

ることから、

今後の災害に

な役割を果たすものと考え して、災害時に非常に大き に向けた情報伝達の手段と

があると感じている。 報無線による伝達には限界 音により放送が聞き取りに は台風の時などは暴風雨の くくなってしまうため、 かしながら、 同 報 無線 同

情報が発表されたときにテ 携したエリアメール、緊急 段により情報を発信してい サービス等、さまざまな手 知らせするテレビプッシュ 緊急情報を音声と文字でお ロップ、携帯電話会社と連 ケーブルテレビのL字テ る登録制メールマガジンや、 同報無線の内容を確認でき わる情報伝達手段として レビの電源が自動的に入り、 そのため、同報無線にか

度にFM放送機器の更新を ラジオ」の導入について検 込み放送をする「緊急告知 番組の途中であっても割り 表されたときに自動起動し、 れに合わせ、緊急情報が発 計画していることから、そ 放送については、令和二年 討していく。 また、コミュニティFM

『その他の質問』 八項目



(日本共産党)

しげぉゕひでこ 重岡秀子議員

機者対策に関する市の見解 市営住宅の高齢者の入居待

を伺う

らすことができるのではな ことのできる部屋がない住 きないとも聞く。 まず、高齢単身者が入所で 空き部屋のリフォームが進 いか。また、予算を理由に 切りかえれば、 用 住宅もあることから、 の部屋に多くの空きがある 宅もある。 おり、高齢者が単身で入る と高齢単身者用に分かれて の部屋を高齢単身者用に 本市の市営住宅は家族用 しかし、 待機者を減 家族用 家族

見解を伺う。 策が必要と考えるが、 けリフォームの重点的な推 用 宅の空き部屋の単身高齢者 など、高齢者の待機者対 への切りかえや高齢者向 以上のことから、 市営住 市の

単身者用へ切りかえや、 申込者の少ない住宅の高齢 ニバーサルデザインに配慮 た住宅の確保を検討する ュ

や段差解消などユニバーサ 齢者が安全に安心して居住 用へ切りかえることや、 宅の一、二階を高齢単身者 とから、申込者の少ない住 とや、今後、高齢化がさら 以上が高齢単身者であるこ えるなど高齢者向けの居室 階を高齢単身者用に切りか ことや、新山住宅の一、二 向けの部屋の割合をふやす 建てかえの際に高齢単身者 針としており、これまでに 宅を供給することを基本方 できるよう、手すりの設置 に進むことが予想されるこ の確保に取り組んできた。 良好な居住環境を備えた住 額所得者に、低廉な家賃や する高齢者や障がい者、 デザインに配慮した住宅 現在、入居待機者の半数 市営住宅は、住宅に困 高 低 窮

『その他の質問』 確保を検討していく。 六項目



高齢者等へのタクシー料金 の考えを伺う の助成事業について、 他の自治体で実施している

組む考えはないか伺う。 があるが、本市として取り た部分を補助している事例 金のうち、六〇〇円を超え 他の自治体において、高齢 者等に向けて、 稼働状況を伺うとともに 現在の市内のタクシーの タクシー料

考えるが、 手帳交付者及び妊産婦を対 ての取り組みとして、満七 納につながる効果を期待し の外出や、 程度の町であるが、高齢者 検討していくことも必要と 生活の交通手段確保として 象者として実施している。 五歳以上の人、身体障害者 この自治体は人口一万人 このような施策について 運転免許証の返 いかがか。

助について検討していく 調査し、タクシー料金の補 他市における支援の状況を 交通手段確保の必要性から、

進を図るため、高齢者公共 平成三〇年度の稼働状況は 購入費の一部として五〇〇 入する七〇歳以上の人に、 または電車割引回数券を購 業として、バス割引乗車証 範囲の拡大や社会参加の促 下傾向とのことである。 約五五%で、ここ数年は低 有車両は一五五台であり、 ると、市内のタクシーの保 交通機関割引証購入助成事 本市では、高齢者の生活 静岡県タクシー協会によ

ても検討を進めていく。 タクシー料金の補助につい ける支援の状況を調査し、 ていることから、他市にお 手段確保の必要性も高まっ 許証の返納に伴う代替交通 社会問題化する中、 高齢運転者の交通事故 運転免

○円を助成している。

『その他の質問』 八項目



^{すぎもとかずや} 杉本憲也議員 (清和会)

防火水槽や消火栓の設置場

当たっては、 るのか把握することが不可 火栓や防火水槽がどこにあ 所等防災情報のオープンデ 夕化について伺う 火災発生時の消火活動に 水利となる消

要となると予測される。 備消防や消防団だけでなく 特に大規模災害時には、常 欠である。 民の協力も、 人口減少が進む中、 必要かつ重 今後、

者がそれを活用し、 データ化により、 水槽や消火栓の設置場所に 公表している。 辺の自治体では、既に防火 ことであると考える。 ついて各ホームページ上で るのか知ることは、重要な こに防火水槽・消火栓があ けでなく、 この点において、 広く市民が、ど オープン 民間事業 本市周 防火水

> させており、既に市民生活 槽・消火栓の位置をアイコ 11 0) ンで地図アプリなどに反映 . る。 利便性向上につながって

らない状況にある。 槽・消火栓の設置場所につ いての公表データが見当た ホームページには、 しかしながら、 防火水 本市

なものがあるか伺う

り組み状況を伺う。 設置場所等防災情報のオー ける、防火水槽、 プンデータ化につい 以上を踏まえ、本市にお 消火栓の て、 取

市長

駿東伊豆消防本部と協議し オープンデータ化に努めて

その中で、

消防関係者だ

防本部と協議し、 場所等の情報については 夕として必要であると考え 消防団活動などで災害時に ており、今後、 有効に利用できる公共デー テータ化に努めていく。 防火水槽や消火栓の設置 駿東伊豆消 オープン

らの意見や要望はどのよう について、市民や観光客か 本市が設置した観光トイレ さとうたつひこ

があると考える。 るが、観光客をもてなす観 が伊東市に訪れることにな までのシャトルバス発着場 リンピックを迎えるに当た るトイレに復活させる必要 いき、気持ちよく利用でき トイレを計画的に改修して 点からも、古くなった観光 以上に国内外から多くの人 になることから、これまで 技会場となるベロドローム り、JR伊東駅が自転車競 東京オリンピック・パラ

意見や要望に対する本市の はどのようなものがあるか や観光客からの意見や要望 対応状況について伺う。 伺うとともに、寄せられた 光トイレについて、市民 そこで、本市が設置した

『その他の質問』一三項目

佐藤龍彦議員 (日本共産党) 市長への手紙など、さまざ や要望については、 観光トイレに関する意見

中が汚い」、「男性用に比べ 使いやすさに関することが てほしい」など、衛生面や ユニバーサルデザイン化し 女性用の便器数が少ない」、 「入り口の段差を解消し

現場を確認し、 に努めている。 の意見に対しては、すぐに 「トイレの中が汚い」と 迅速な対応

ザイン化してほしい」との が少ない」、「ユニバーサルデ ン化を積極的に進めている。 増及びユニバーサルデザイ 討の際に、女性用トイレ イレの改修や建てかえの検 意見や要望に対しては、ト 『その他の質問』 また、「女性用の便器数 九項目 0

る意見や要望が多い 衛生面や使いやすさに関す

(公明党)

内容としては、「トイレの 客から寄せられるが、主な まな方法により市民や観光 や地域タウンミーティング、 意見箱 えはないか伺う 部機器の購入を支援するた 犯機能の後づけが可能な外 防犯機能つき電話機及び防 補助制度を創設する考 ながさわまさし 長沢正議員

の装置がある。 機の前に装着する後づけ型 ついた電話機や従来の電話 迷惑・悪質電話防止機能の あるが、その防止策として 固定電話に出やすいことが 害が多い要因に、 た特殊詐欺で、 振り込め詐欺を初めとし 高齢者の被 習慣的に

ないか伺う。 補助制度を創設する考えは 器の購入を支援するため、 犯機能を後づけする外部機 防犯機能つき電話機及び防 状況にあることを踏まえ、 ており、依然として深刻な の、ともに高水準で推移し 度に比べ減少しているもの の認知件数・被害額は前年 平成三〇年度の特殊詐欺

補助制度の創設について検 討していきたい 市民からの要望を確認し、

に貸し出しを行った。 らの要請により市において ○年一月に、伊東警察署か 犯用電話自動応答録音アダ いるが、その一つである防 まざまな機種が販売されて プターについては、平成三 防犯機能を後づけする外部 ○○台購入し、一般家庭 防犯機能つき電話機及び 家電量販店等でさ

らの要望を確認しながら、 握できていない状況である 討していきたいと考えてい ことから、 度のニーズがあるのか、把 寄せられておらず、どの程 相談や問い合わせはあまり 当該機器の購入等に関する する人もいると思われるが、 補助制度の創設について検 れることがあるため、 テレビ等でも取り上げら 今後は、市民か 購入

『その他の質問』一一項目



コミュニティ・スクール の

あるか伺う。 市において導入する考えが 営に参画するコミュニテ 者、学校が協働して学校運 力義務化した、地域、保護 ら推進し、二〇一七年に努 文部科学省が二〇〇四年か 育の質を高める試みとして、 地域の活力を取り入れた教 で子供を育てる観点から、 力を発揮できるよう、 供たちが将来さまざまな能 く必要があることから、 の充実について注力してい めにも、教育や子育て環境 ィ・スクールについて、 今後のまちの活性化のた 地域 子

取り組んでいく ティ・スクール導入に向け てよりよい形のコミュニ 調 査・研究をし、 本市とし

> げられている。 既に地域との連携を進めて がある一方で、コミュニテ 共有できることにメリット 員の負担増などの課題も挙 いる部分があること、教職 を新たにつくらなくても ィ・スクールという枠組み いくのかというビジョンを でどのような子供を育てて が継続できることや、 ミュニティ・スクールには 一域との組織的な連携体制 文部科学省が推進するコ 地域

導入について考えを伺う

聘し、 状況について調査・研究を 導入している地域や学校の 今後、国や県を初め、既に 今後の取り組みについて協 県教育委員会の主管課であ でいきたいと考えている。 議をしたところでもあり る社会教育課の担当者を招 ール導入に向け取り組ん 形のコミュニティ・ス 本市においては、八月に、 伊東市として、よりよ 説明を受ける中で

『その他の質問』 八項目

ぁさだよしひる 浅田良弘議員

合については、 の支援が不可欠と考えるが っても被災者に向けた行政 一次的被害が懸念される場 私有地であ

緊の課題である。 観点からも必要であり、 地域住民の不安解消を図る る危険性が高い箇所を整備 倒木や急傾斜地崩壊が生じ の未然防止を図るため、 るが、自然災害による被害 号の爪痕がいまだ残ってい らした台風一五号及び一九 本市に甚大な被害をもた 対策を講じることは 喫 風

あっても、 ついては、 的被害が懸念される場合に 急傾斜地崩壊により、二次 まだ手つかずであったり 行政の支援が不可欠と考え このため、倒木処理がい いかがか。 被災者に向けた たとえ私有地で

(会派に所属していない)

らの適正な管理をお願いし ていきたい 危険箇所について、 日頃か

地内の倒木処理や急傾斜地 ならない。 の崩壊対策を行わなけれ 災した場合であっても、 になるので、 有地の管理責任を負うこと 土地の所有者は、 災害により被 自己所 敷

るため、 等の災害から公共施設を守 えている。 し、日頃からの適正な管理 報告された危険箇所につい 道路パトロールなどにより ことは困難であることから、 所の対策を全て行政で行う 対策を実施することがある。 を得て、 点により、 する場合は、 道路などの公共施設が隣接 念される斜面等の私有地に をお願いしていきたいと考 いずれにしても、 しかし、二次的被害が 所有者の皆さんに対 落石防護工などの 土地所有者の協力 落石や土砂崩れ 災害防除の観 危険箇

『その他の質問』 二項目

なかだよしまさ 仲田佳正議員 (会派に所属していない)

全額免除制度の創設に向け

て、現行の奨学金制度の拡

新制度の創設等を検

討している

育英奨学生へのアンケー

らなる拡充について、 伊東市育英奨学金制度のさ の考えを伺う 本市

ければならない。 いう金額を返済していかな 就職した後に毎月数万円と にして背負う借金となり、 ばらしい制度ではあるが、 めることなく学費のサポー している学生が、進学を諦 されており、経済的に困窮 認められた制度として認知 トが受けられる、とてもす 一方で、子供たちが一〇代 奨学金制度は、 社会的に り、

の考えを伺う。 らなる拡充について、 奨学生が学校卒業後に市内 学一時金を貸与した上で、 制度では、高校、大学進学 を設けているが、制度のさ に居住する場合は、返還金 本市の伊東市育英奨学金 一分の一を免除する制度 月額奨学金及び入

で拡充することや、

新制度

に、現行の奨学金制度の中 識者からの意見なども参考 て、学生生徒のニーズや有 全額免除制度の創設に向け

てどのように考えるか伺う 連携による取り組みについ づくりを行うに際し、官民 観光都市伊東としてのまち

ターンを希望する学生の割 トによると、卒業後の

ジェクトチームだけではな どのように考えるか伺う。 と考えるが、本市としてこ 担当課を横断した形のプロ ちづくりを行うに際し、各 のような取り組みについて を超えた連携が必要になる の共同計画のように、官民 おける「町田市・東急電鉄」 く、南町田のまちづくりに 観光都市伊東としてのま

のと認識している。

だくことは重要かつ喫緊の

も多くの観光客に来ていた

伊東市にとって、

一人で

課題である。

る拡充については、

現在、

として掲げたところである。

育英奨学金制度のさらな

業に就職した場合の奨学金

全額免除制度の創設を公約

での活躍を目指し、

市内企

秀な若者のさまざまな分野

六七%へと上昇している。 九%から、令和元年度には 合は、平成二九年度の五

さらに、市長就任に当た

本市にUターンした優

計画を策定する上で参考と と考えることから、今後の ことは有効な手だてである 民間のノウハウを活用する

田拠点創出プロジェクトに 急電鉄との合同による南町 町田市や地元町内会と東

築したいと考えている。

『その他の質問』

六項目

ており、より有為な人材を としての創設等の検討をし

多く育成する制度として構

型住宅等を一体的に再整備 都市公園、 な発展のため、 力の再構築と地域の持続的 ついては、 共同して、都市基盤

たくほまき田久保眞紀議員 (会派に所属していない) づくりに取り組んでいるも いくための持続可能なまち

から、 ちづくりの理念や取り組み 手だてであると考えること あるが、民間のノウハウを ちづくりに、そのまま当て 域資源に恵まれ、観光産業 活用することは大変有効な はまるのかは研究が必要で を基幹産業とする本市のま 共同する町田市におけるま このような、官民が連携 自然景観や温泉等の地 まちづくりにおける

したいと考えている。 『その他の質問』 八項目

計画を策定する上で参考に

一つの手法として、

今後の

が融合した魅力的な「新し 良好な住宅市街地とコミュ い暮らしの拠点」の創出と、 ニティを次世代につなげて 都市公園と商業施設と 商業施設、都市 郊外住宅地の 官民が連 等について、見解を伺う ジアムの創設や記念碑建立 にゆかりのある歌手、 観光文化施設として、 冢等著名人に関するミュー

名人の歌碑、 な楽曲、歌手、 国のみならず海外でも有名 りがあり、現在でも日本全 の一つとして、本市にゆ そこで、観光客誘致施策 記念碑を建立 作詞家等著

が の場となると考えるがいか つくとともに、 ることは観光客誘致に結び ジアムを空き施設に創設す の持てる、有名人のミュー わず心が温かくなり、 し、また、市民にとって思 本市の見解を伺う。 市民の憩い 希望

石島茂雄議員

する必要がある 研究する中で、慎重に検討 類似施設の状況等を調査

えている。 調査・研究する中で、慎重 国内の類似施設の状況等を アムへの展示物等の財産所 者の検討に加え、ミュージ 碑建立等については、対象 ミュージアムの創設や記念 作詞家等著名人に関する に検討する必要があると考 くの課題もあることから、 有権や著作権の問題など多 本市にゆかりのある歌手 観光文化施設としての

から、 かが極めて重要になること 意見等も伺いながら検討し つなげていくことができる や本市のイメージアップに としてどのように誘客促進 とから、ミュージアムや記 行形態や価値観など、ニー ていきたいと考えている。 念碑等を観光・文化の資源 ズの多様化が進んでいるこ また、近年は旅行者の旅 さまざまな方からの

市 議会内の会派構成 令和二年二月一日現在

■正風クラブ

佐山 周 正 議員 議員

た議会を目指し、

本会議の 開かれ

伊

東市議会では、

視聴できます!

本会議録画映像を インターネットで

◎宮﨑 敬博 雅薫 議員 議員

公明党

篠原 康子 議員 議員

◎長沢 正

■清和会 議員

四宮 憲也 和彦 議員 議員

■自民・伊東新時代。 ◎井戸 勝弘 清司 議員 議員

◎杉本 弘道 一彦 議員 議員

■日本共産党

佐藤

龍彦

議員

■会派に所属していない ◎重岡 田久保真紀 秀子 議員 議員

仲田 絢子 佳正 議員 議員

浅田 石島 良弘 茂雄 議員 議員

『その他の質問』

四項目

会派構成議員は議席順 ◎=会派代表者

> おおむね一週間後から視聴 みをしております。 録画映像をインターネット できます。 でごらんいただける取り組 会議の翌日から起算して

アクセスは

伊東市ホームペー (市政の情報

市議会

放送 市議会インターネット中継

る会議録が公式記録です。 あ ※録画映像は公式記録では りません。 後日調製され



意見書提出を求める 陳情の取り扱いについ

7

については、 陳情のうち、持参による「意見書提出を求める陳情 次のように取り扱っています。

定例会告示日の前日の午前一〇時まで

定例会告示日翌日の議会運営委員会に提案

(取扱方法) 〈提出期限〉

定例会最終日前日の議会運営委員会 (陳情者との協議・調整) (協議・調整)

とするにとどまる全議員に参考配付 賛成者なし、 または、賛成少数 賛成多数 ※提出は全会一致を旨としているため、 協議により提出の有無が決定します。 協議の結果、提出しないものと決定 議案として提出最終本会議に 協議の結果、提出するものと決定 全会一致で賛成

取り扱っています。なお、郵送によるも 郵送によるものは 全議員に参考配付として

★意見書とは・・・

地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して、議会の議決に基づき議会と しての意見や要望をまとめた文書で、国会または関係行政庁に提出できる。

総務委員会

常任委員会だ

常

任委員会審查

一の中か

5

商店やイベントの情報を発 グバナー(のぼり旗) 内容について伺う。 リンピック関係事業の補正 インをした二種類のスイン 信する仕組みを検討する。 城ヶ崎分校の生徒がデザ 東京オリンピック・ 夏場の高温対策のた 観戦客誘致のために、 の増 パラ

置の配備を考えている。 が期待できるミスト発生装 バス発着場等に、 人が滞留するシャトル 冷却効果

光建設委員

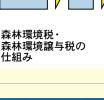
◆詳細は、二月中旬発行予定の一二月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください

を伺う。 条例について、 伊東市森林環境整備基金 基金の目的

管理し、無駄なく使用して 整備に関する目的以外の用 同 ものであり、他市においても いくように基金を設置する じた執行残額を積み立てて ることから、年度ごとに生 いことが法で定められて 途に使用することができな 森林環境譲与税は、 様に基金を設置している。

福祉 文教委

統合後においても、 学校統合を踏まえ可搬性の 対応可能な汎用性のあるも 視しつつ、これらの状況に 施策に関する国の動向を注 置 子黒板の仕様について伺う。 す 特別教室等に移設し、 あるものを採用することで などを初めとした情報教育 て市内小学校へ配備される電 タブレット型端末等の ることを検討している。 を検討していく。 やWi-Fi環境の整備 情報教育推進事業におい 他校の また



国

森林環境稅

国民

(納税義務者)



城ヶ崎分校生徒デザ<mark>イン</mark>によるスイングバナ

森林環境 譲与税

都道府県

市町村

(伊東市)

森林整備の

ための実施事業 ●森林経営 管理意向

調査

伊東市森林環境整備基金

●林道整備

*執行残額を 積立

小学校の全普通教室に電子黒板とパソコン

閉会中の議会活動

※令和元年10月臨時会閉会から 令和元年12月定例会開会まで

と思っています。

この「声のいとう市

議会

いものを作成していきた

やご感想をもとに、

10月28日 常任観光建設委員会協議会 10月30日 議会報編集委員会 11月11日~13日 常任総務委員会行政視察 11月11日~13日 常任観光建設委員会行政視察

11月11日~13日 常任福祉文教委員会行政視察



だより」は、

市議会ホー

11月25日 議会運営委員会

を作成しています。

収録の内容は、

議員によ

り紙面の一部を音訳し

一声のいとう市議会だより

力をいただき、

市議会だよ

ひなぎく」の皆さんに協

委員会において正式に決定します。 詳細は市議会ホームページにて ご確認ください。

☎○五五七-三二-一五三三

社会福祉課 障害福祉係

※日程等は、2月中旬の議会運営

3月定例会の予定

2月21日(金)

な方に議会の情報をお届

するため、

音訳サー

ク

市議会では、 目 0 不自

ページにデータを掲載する 係までお問い合わせください 障がいのある方が対象とな 配付しています。 収録したカセットテー ほか、ご希望の方へ内容を 市役所社会福祉課障害福祉 ます。配付をご希望の方は テープの配付は原則視:

の

よりよ

すが、皆さんからのご意見

る一般質問が中心となり

常任委員会では先進事例などの調査・研修のため、3日間の行政視察を実施しました。 詳細は市議会ホームページをごらんください。

送及び窓口業務の民間委託 住民票の写し等交付に係る郵

Ш

月 日 日

高知県四万十町

行政視察概要

みについて 移住・定住促進に係る取り組

自治体クラウドの導入につい

7

常任委員会

高知県南国市

事業について



滞在型市民農園(四万十町)

境漁港見学ツアー(境港市)

般社団法人松江観光協会 (島根県松江市)

兵庫県姫路市

月

推進プロジェクトについて 陰まんなかインバウンド

について

学校 「姫路市立白鷺小中学校」 小中一貫教育及び義務教育

境漁港見学ツアー 般社団法人境港水産振興協会

鳥取県境港市

水産業の振興について

鳥取県米子市 米子駅南北自由通路等整 備



能勢ささゆり学園(能勢町)

ざまな変化を感じるのでは

ないでしょうか。

年末となり、進級や卒業を ります。例えば、学校では学 化を感じられる季節でもあ で、社会ではさまざまな変

三月と言えば年度が

わ

12

目前に環境や心境にもさま

大阪府高槻市 「高槻子ども未来館」 につい

大阪府能勢町

さゆり学園」について 施設一体型小中学校「能勢さ

しいただき、さまざまな変 改選で一九期目となりまし 化を感じてみてはいかがで た。ぜひ議会の傍聴にお越 な議会です。 しょうか。 伊東市議会も昨年九月の (佐藤龍)

議会報編集委員会

委員長 佐 本

市議会に関するご意見 こ質問は議会事務局 佐 杉 大 篠 川原藤 弘子周也彦

の新年度予算を審議する 例会の開催中です。伊東市 ころには、市議会も三月定

この市議会だよりが届く

市民生活にとって大変重要